



美瑛町立美瑛中学校
学校だより
令和3年10月号

学習の秋に向けて

校長 鈴木 薫

10月9日、素晴らしい秋晴れの中、本校の文化祭が無事終了しました。当初9月11日の予定でしたが、緊急事態宣言の発令等で二転三転する中、気温の低下や感染状況を考慮しながら場所や内容に工夫を凝らしました。前半は、外の玄関部分をステージに、吹奏楽部の演奏、昨年は録画だったステージ発表を生で、そしてクイズなどを行う新しい取り組みのイベントを行いました。その後体育館で、映像制作、各学級の合唱をBGMにして学級紹介を行う通称「虹プロ」の映像を鑑賞しました。最後は、生徒会たつての願いだった花火を昨年同様実施してフィナーレでした。

期日の移動の度に何度も担当が話し合い、計画に3年間分くらいの時間をかけて臨んだ文化祭ですが、当日の快晴、子どもたちの満足していた笑顔、そして右側に一部掲載しましたが、保護者の子どもたちへのエールを読み、みんなの努力がむくわれた気がしました。

1年の折返しを過ぎ、大きな行事も無事終了しました。これからは学習の秋になります。特に3年生は11月には三者面談があります。希望の進路に向け、最後まで頑張り、うれしい「15の春」を迎えてほしいと願っています。ただ、高校の進学先で人生が決まるわけではありません。時代は学歴社会から実力社会に変化してきています。「夢はあきらめたら終わり、あきらめなければ道の途中」と言います。どこの高校に行こうが夢をあきらめる必要はありません。たとえ夢をあきらめてもまだ15歳。まだまだ違う夢、新しい夢を持てる年でもあります。

27日連続最高気温が30度を超えた夏からわずか2ヶ月あまり、いよいよストーブが欠かせない季節となりました。原油価格の高騰で暖房費もかさみそうです。新型コロナウイルス感染者が減ったことは大変喜ばしいことですが、年末に向け、ワクチン接種率向上が功を奏し、あまり増えないといいですね。

文化祭、無事終了!

10月9日(土)に文化祭を開催しました。コロナ禍により、例年とは違った開催となりましたが、当日は天候にも恵まれ、生徒たちにとっては大満足の文化祭となりました。



文化祭保護者アンケートより

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました

- ・ イベントやステージ発表など、たくさんの工夫や頑張りが見れました。裏方の子供達もスムーズに進行できるよう動いていたと思います。力を合わせて頑張っている姿が見られて嬉しく思います。
- ・ 制限が多い中、素晴らしい文化祭でした。大人になっても記憶に残るものではないかと感じました。
- ・ 自分たち自身で作り上げて楽しもう、という姿勢がよくみえました
- ・ とても良かったと思います。生徒も先生も保護者もみんなが楽しめたのではないのでしょうか?花火も良かったです。コロナで我慢が多い子供達。先生も指導に限られて大変だと思います。色々な思いで見えたのではないのでしょうか?毎年午後スタートで花火で締める...そうでもいいのかも知れませんが。
- ・ 制限がある中で、笑いあり、感心あり、感動ありの文化祭でした。こんな気持ち久しぶりで、子供達に感謝です。先生方もお疲れ様でした。
- ・ コロナ禍のなか、最後まで諦めずに頑張ったと思います。子供達の団結力は素晴らしかったです。
- ・ 制限の多い中、アイデアを出し合い実行したことは素晴らしいと思います。先生方も温かく、一緒になって盛り上げてくださり、美瑛中学校の良さを再認識しました。
- ・ 生徒の皆さんの努力と先生方の工夫により、制約の中でも楽しく盛り上がり成功して良かったです。
- ・ 限られた時間の中、みんなで協力し合い、良いものができたと思います。見ているこちら側にも頑張りが伝わったし、楽しめました。

祝吹奏楽部、全国大会出場!

吹奏楽部は、第27回日本管楽合奏コンテストで、念願の全国大会出場を果たしました。コロナ禍により本番は映像審査となりますが、今までの集大成となる素晴らしいサウンドを、全国に響かせます。おめでとうございます!

